

# 笑楽幸

土佐清水市立清水小学校  
校長室便り 令和3年3月19日

## 明日は卒業式です

清水小の西側にある桜が咲き始めています。「何があっても桜は咲く。」作家の角田光代さんが随筆の中で、桜は律儀だと書いています。

今から10年前の東日本大震災が起こった年にもそれぞれの町並みで満開の桜は美しかったことを覚えています。

昨年新型コロナウイルスの感染が拡大し、全国一斉の臨時休校となりました。1年経った今でも

毎年新規感染者が確認され、亡くなる人もいます。

変わり続けるしかない私たちの暮らしに、季節は変わらずその時の風景を知らせてくれます。

今年も桜が咲く中、明日は令和2年度の卒業証書授与式となります。

高知県でも先日、桜の開花が確認されました。21日からは一都三県の緊急事態宣言も解除されるようです。

感染症と向き合って2度目の春を迎えました。これまでの経験、体験をしっかりと生かして、これ以上感染症が拡大しないように気をつけて生活したいものです。

前置きが長くなりましたが、そんな変わらない季節・桜が咲く中、明日は令和2年度の卒業証書授与式となります。

昨年度に引き続き清水小の卒業式も来賓を限定し、式の簡素化と時間短縮をして行うこととします。卒業式は、小学校での最も重要な儀式です。今年も様々な制約はありますが、簡略化の中にもできるだけ気持ちよく、卒業生を送ってあげたいとの強い思いがなかに進めています。

マスク着用での式となりますが、練習でも子どもたちはしっかりと頑張ってくれています。

練習をしている6年生からは緊張感も伝わってきますが、自信に満ちた表情を見せてくれます。いい卒業式になると思います。後は天気だけが心配です…

## 清水小学校を巣立っていく41名のみなさん ☆ご卒業おめでとうございます☆

私とは1年間だけの付き合いでした。また最上級生になったばかりなのに、1週間も経たないうちに臨時休校となり、学校再開は5月の連休明けからでした。

昨年度までの2クラスから1クラスになり、担任も松本哲郎先生1人になりました。半分の児童は2年連続だけど後半分の児童は、松本先生と一

からのスタートとなり、不安に思った人もいたことでしょう。

学校再開後も『三密を避ける』『手洗い・うがい・手指消毒』そして何よりも『マスクの着用』はこれまでの生活を一変させました。

特に6年生は、41名と言うことで教室はギュウギュウ詰め状態。身体も大きくなったことから、前後左右の距離をとるようと言われても「無理!!」と思った人は1人や2人ではないと思います。

そんな中、助っ人も現れてくれました。昨年まで担任をしてくれていた沖先生でした。松本先生だけでなく、児童の中にも安心した人がいたのではないかと、思います。半日だけの勤務でしたが、本当に助けていただいた1年でした。

5月。みんなが楽しみにしていた運動会。6年生の最大の見せ場でもある組体操はできませんでした。9月まで延期して、できることを考え、半日だけの実施となりました。

親子競技では、それぞれの種目でふれあうことができたように思います。保護者からのメッセージもとても素敵でしたね。

1ヶ月臨時休校になったことで、いつもより短くなった夏休み。2学期もいつもより早く始まり

ました。本来なら広島に行くはずの修学旅行。一番楽しみにしていた行事かも知れませんが感染防止対策の面から行き先も高知市内となりました。

その他にも、鯉の一本釣り体験をはじめ、挙げてみると切りがないほどの行事が中止となりました。我慢の1年でしたが、6年生の素晴らしいところは「できないならどうやったらできるか。どこまでだったらできるか。」と常に先のことを考えてきたことです。ミニマラソン、缶蹴り大会…いろいろあったと思います。

学習してきたことをもとに、次の変化を考えるあなたたちは、かけがえのない経験をしてきました。この経験はこれからの生活の中で生かされ、より成長していくことと信じています。

これからの時代、変わるものと変わらないものがある中で、皆さんに、マザー・テレサの「あなたは、あなたであればいい」ということばを送ります。このことばには、人と比べてあれがない、これがないと思うのではなく、今、自分にできることを自分らしく精一杯やりましようと言う思いが込められています。これからの時代の中心的な役割を担っていくあなたが、あなたであるために勉強でも、運動でもしっかりと目標を決め、親や先生から言われるからやるのではなく、自分の意志で努力してほしいと思います。自分に正直に、自分を愛して、いつまでも努力して下さい。

皆さんは5つの中学校に進学します。それぞれの進学先で、これまで以上に大いに学び、大いに体を鍛え、心を豊かにしてください。もちろん、不安な時、心が弱くなったときは家族や友達に支えてもらいましょう。頑張るためには、休むことも大切です。皆さんの隣には、いつも皆さんがゆっくり休むことのできる居場所・家族や友達がいることを忘れないでください。

これからの人生みんな違って良いのです。新たな場所でそれぞれの活躍を祈っています。

結びはやっぱりこのことばです。

「一人ひとりのこれからの人生が幸多かれと祈ります。」

本当に卒業おめでとう

